

葉ハ稍疎ニ着キ大キク、長サ (2-3-5 mm. 背面ニ深イ一條ノ溝ガアリ、縁部ニハ淡褐色ノ
 纖毛ガ列生シテキル。残念ナガラ花ハナカツタガ、去年ノ果實ガ殘ツテキテ、果梗ハ長サ
 7-12 mm. アツタ。西ハばいかる地方カラ東ハおほつく・うすりー地方ニ分布シテキル種類
 デ、かむちやつか半島ニモ記録ハアルガ誤リラシイ。工藤博士ガ *C. tetragona* トサレタモ
 ノモ同一ト思フノデ、樺太廳中央試験所報告第一類第一號デ石山哲爾氏ノツケラレタから
 ふといハひげヲ和名トシテ採用シテオク。 (原 寛)

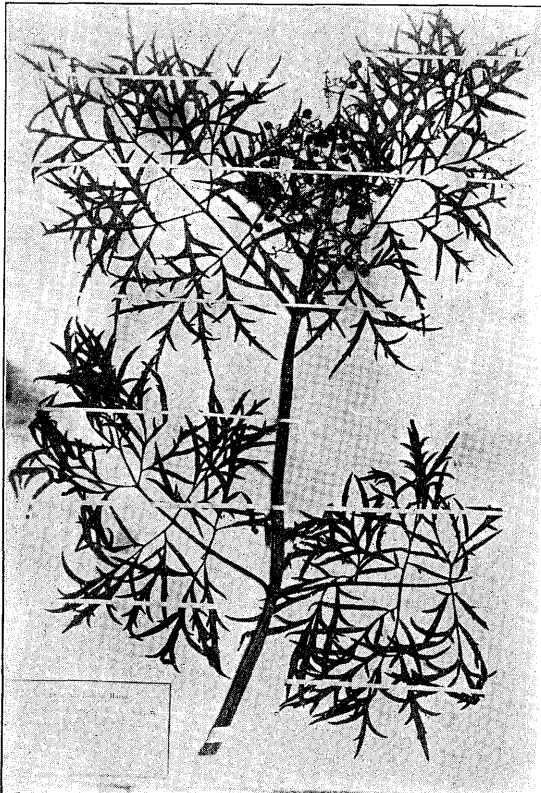
Cassiope ericoides D. DON in New Philos. Journ. XVII, p. 158 (1834).

Syn. *Andromeda ericoides* PALLAS, Fl. Ross. II, p. 56, t. 73, fig. 3 (1788).

Nom. Jap. *Karafuto-iwähige*.

Hab. Saghalien: in Experimental Forest of Kyushu Imperial University.

(H. HARA)



はごろもえぞにはとこ

〇はごろもえぞにはとこ

(*Sambucus Buergeriana*

BLUME var. *lacera* NAKAI)

1891 年故 FAURIE 師ガ北海道
 札幌附近デ發見シテ以來久シク
 採集家ノ目ヲ逃レテキタガ數年
 前王子製紙會社山林部ノ富本豐
 氏ニヨツテ膽振國、白老郡、敷
 生村ノ社有林内デ見出サレタ。
 細カク切レタ葉ハ、ソノ帶黃白
 色ノ花或ハ紅色ノ果實ト相俟ツ
 テ頗ル美事デアル。現在デハ虎
 杖濱ヘ移植サレ大切ニ保護サレ
 テキル。 (原 寛)

〇さはをぐる

飯沼慾齋翁ハ草本圖說ニさは
 をぐるまトをかをぐるまヲ區別
 シテ圖解シタガ、牧野博士ガコ
 ノ兩者ヲ同一デアルトサレテカ
 ラハズツトソノ様ニ考ヘラレテ
 キタ。併シ最近筆者ハコノ兩形
 ガ可成リ異ツテキル事ニ注意ヲ
 惹カサレタ。さはをぐるまノ基
 本形ハをかをぐるまニ比シ水分

多イ所ニ生エ全形壯大デ葉ハ細長ク、莖上葉ハ數多ク、花ノ數モ多ク、總苞ノ綿毛ハ少イ。